

# 愛知学院大学歯学部倫理委員会

## 平成 27 年度第 3 回会議 次第

平成 27 年 10 月 1 日（木） 15 : 00～

### I. 報 告

1. 平成 27 年度第 2 回倫理委員会議事録（案）（平成 27 年 7 月 2 日）
2. 再提出状況および委員長決裁について
3. その他
  - 1) 情報管理者の雛形について
  - 2) セミナー開催について

### II. 協 議

1. 申請書類審議（事前送付資料参照）
2. 申請者との面談
3. 判定結果の決定
4. その他

平成27年度愛知学院大学歯学部倫理委員会委員名簿

◎委員長 ○副委員長

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
	本田 雅規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	27.4.1-29.3.31
	池田 やよい	解剖学講座教授	〃	26.4.1-28.3.31
	戸 莉 彰 史	薬理学講座教授	〃	26.4.1-28.3.31
○	前田 初彦	口腔病理学講座教授	〃	26.4.1-28.3.31
◎	千田 彰	保存修復学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	26.4.1-28.3.31
	武部 純	有床義歯学講座教授	〃	27.4.1-29.3.31
	原田 純	麻酔学講座教授	〃	26.4.1-28.3.31
	松原 達昭	内科学講座教授	〃	26.4.1-28.3.31
	高木 敬一	愛知学院大学法学部教授	規程第4条(3)学識経験者	27.4.1-29.3.31
	黒神 聰	元愛知学院大学法学部教授	〃	27.4.1-29.3.31
	柿田 憲広	金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)一般人	27.4.1-29.3.31
	鏡山 典子	愛知教育大学人事労務課長	〃	27.4.1-29.3.31

平成27年度 第3回歯学部倫理委員会  
インターネット公表一覧

1	実施責任者	上野 温子
	研究課題	電子ビーム3次元造型機を利用したチタン製の金属床の臨床評価
	概要	公表不可
2	実施責任者	福田 理
	研究課題	小児期におけるフロスの使用状況に関する研究
	概要	<p>近年、小児の齲蝕は減少傾向にある。6年ごとに調査・発表されている歯科疾患実態調査によると、フッ化物塗布の経験者の割合は少しずつ上昇している。また歯ブラシの使用状況は、1日1回みがく者は減少し、2回、3回みがくものは増加傾向を示している。これらより、小児期の齲蝕予防に対する意識は年々高まっていると推察される。</p> <p>一方、小児の齲蝕の好発部位の一つに臼歯部隣接面が挙げられる。その齲蝕予防にはデンタルフロス（以下「フロス」とする）が効果的であるが、小児期のフロスの使用状況についての報告は少ない。</p> <p>本研究は小児の口腔健康増進のための支援方法を考慮し、小児期のフロスの適切な使用開始時期と指導方法を検討するための基礎的資料を得ることを目的として、小児および保護者のフロスの使用状況を調査、検討することで、小児歯科診療におけるフロス使用の啓発、指導をより有意義にすることを狙いとしている。</p>
3	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可
4	実施責任者	福田 理
	研究課題	本学小児歯科における歯の外傷の実態調査
	概要	<p>歯の外傷を主訴として歯科を受診する患児は稀ではなく、対象年齢が低く対応が困難であることや、今後の成長・発育を考慮しなければならないため、その扱いは容易ではない。</p> <p>そこで本研究では、歯の外傷を主訴として当科を受診した患児に対して、当科にて作成した歯の外傷記録用紙を用い、年齢、性別、受傷場所、受傷から来院までの時間、来院経緯、来院までの処置、受傷原因、受傷部位、口腔軟組織損傷部位、受傷様式、初診時の対応について実態調査を行い、歯の外傷の予防および処置方法を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。</p>
5	実施責任者	福田 理
	研究課題	S-PRGフィラー含有フッ化物徐放性歯科矯正用レジンの生体への応用
	概要	公表不可
6	実施責任者	有地 淑子
	研究課題	講義・実習における学生アンケートによる教育改善
	概要	<p>平成23年度より、歯学放射線学・口腔病理学講座合同で、歯学部3年生と4年生に対し、画像診断の講義を行ってきました。症例を提示し、エックス線学および病理学的見地から所見をとらえ、診断をすすめていくという、いわゆる症例カンファレンス形式で講義を進めてきました。カリキュラム改変により、平成29年度より3年・4年合同での講義が行えなくなります。この合同講義をどのようにすべきか検討する必要に迫られています。</p> <p>本研究は、学生に対して添付書類のようなアンケート調査を実施し、講義内容の検討および改善をおこなうことを目的としました。アンケート調査では氏名などの個人情報の保護に配慮が必要ですので、本研究の倫理審査を申請いたします。</p>
	実施責任者	吉岡 文
	研究課題	エピテーゼ製作のための三次元表情運動モデルの構築、およびその臨床応用に関する研究

平成27年度 第3回歯学部倫理委員会  
インターネット公表一覧

7	概要	<p>エピテーゼの製作法は複雑な工程と熟練した技術や、芸術的な感性が必要とされてきた。これまで、エピテーゼを製作する上で、患者・術者双方に負担の少ない簡便な方法の確立を目指して様々な研究が進められてきた。</p> <p>本研究ではさらに適合性の高いエピテーゼの製作を行うために、モーフィング法（ある物体から他の物体へ変化する過程をコンピュータによって補完する手法）を用いてコンピュータ上にて皮膚表面の弾性や表情筋の動きを導入し、より生体に近い、「動く顔面模型」の製作方法を確立することを目的とする。</p> <p>加えて、シリコン材料の弾性を考慮することにより、静止状態のみならず、運動時にも欠損部に適合したエピテーゼの製作方法を確立することで、顔面の動きに追従するより自然な装着感が得られたエピテーゼを製作することができると考えられる。</p>
8	実施責任者	渡邊 哲
	研究課題	精神科病院における窒息、肺炎の発症率について
	概要	公表不可
9	実施責任者	渡邊 哲
	研究課題	反復唾液嚥下テストにおける空嚥下時間を加えた評価方法の検討
	概要	公表不可

# 平成27年度第3回歯学部倫理委員会議事録

日 時：平成27年10月1日（木） 15時00分

場 所：歯学部基礎教育研究棟 第1会議室

出席者：千田、本田、池田、前田、戸苅、武部、松原、高木、黒神、柿田

欠席者：原田、鏡山

開 会：15時00分

## 報 告

### 1. 平成27年度第2回倫理委員会議事録について

委員長から、資料により報告があり、原案どおりこれを了承した。

### 2. 再提出状況および委員長決裁について

委員長から、資料により報告があり、前回の「条件付承認」「修正の上承認」等についての提出状況について説明があった。

- ・修正の上承認 8件：承認
- ・条件付承認 2件：1件（持ち回り審査の結果 承認）  
1件（持ち回り審査の結果に基づき 修正まち）
- ・研究等変更審査申請 3件：2件（規程6条9項に基づき 承認）  
1件（持ち回り審査の結果に基づき 修正まち）

### 3. 情報管理者就任承諾書、情報の守秘に関する誓約書の雛形について

先回の委員会で愛知学院大学顧問弁護士に相談するとした件について、委員長から顧問弁護士に書類を渡しているが、また回答は貰えていないと報告があり継続審議とした。

### 4. セミナー開催について

委員長より、心身科学部、薬学部、歯学部の倫理委員会合同でセミナーを開催する予定であり、研究支援課を通じて講師依頼を行っているとの報告があった。日時等は決まっておらず再度研究支援課へ確認し、セミナー開催が決まったら広報することとした。

### 5. その他

- ・倫理委員会の委員の研修について、E-learning システム等を文部科学省や厚生労働省が用意するとの話があるので、各システムの環境状況が分かった段階で検討することとした。
- ・歯学部 HP 内に倫理委員会用の公開ページが作成されたとの報告があった。

## 議 題

### 1. 倫理審査について

委員長から提議され、今回14題の申請があり、新規の9題について実施責任者または分担者から研究概要の説明を受け判定したい旨、研究等変更審査申請の2題および前回、前々回の条件付承認の

3題については書類審査を行いたい旨述べられ、これを承認し、次のとおり順次実施した。

審査結果について歯学部倫理委員会規程第6条4項に基づき、出席委員の3分の2以上の合意によるものとし、委員長が取り纏めて審査判定を行うこととした。

新規の9題のうち承認1件、修正の上承認1件、条件付承認2件、不承認2件、その他（保留）2件、その他（非該当）1件とし、書類審査の5題のうち承認3件、条件付承認2件とした。

閉 会：18時20分